

2021年度 一般社団法人鹿角青年会議所

理事長所信

「はじめに」

新型コロナウイルスが蔓延し、世界規模で社会的、経済的、そして政治的危機を引き起こしながら、今なお終息にいたっておらず、私たちの日常生活に多大な影響を与えています。

青年会議所も大きな影響を受け、自らの安全確保と経済の立て直しに迫られる厳しい状況で、これまでの日常生活が変わり、誰もが不安な毎日を過ごしています。

私は、鹿角青年会議所メンバー全員と共にこの状況を乗り越えて行けると私は考えています。2021年度、新しい生活様式を踏まえた適切な対応をして、修練、奉仕、友情の三信条のもと、鹿角地域に顕在する課題に積極的に取り組む事が豊かな地域社会の実現に繋がると考えます。

「組織力向上委員会」

現在、鹿角青年会議所会員は非常にアクティブに活動を行っており、素晴らしい組織であると感じます。しかしながら全員が意義を理解して活動に参加できていない現状があるのも事実です。JCに入会した動機はそれぞれ違いますが、入会した以上はJCをフル活用して自己研鑽を重ねて成長していく事が自社の発展と家族の幸せ、なにより地域社会への貢献に繋がると思います。

明るい豊かな社会の実現のため会員一人ひとりが自らの意思で成長を求め修練を積み、能動的に活動できる人材を創出し、組織力の向上を目指していきます。

「青少年育成委員会」

時代は今、情報通信技術の発展など、社会の急激な変化の中で、子どもたちは無数にある選択肢から自らの意志で進むべき道を決断し、自身の発想力と行動で課題に向き合い解決していく「変化の時代を生き抜く力」をもつことが求められています。しかしながらソーシャルネットワークで得た知識や情報が先走ってしまい、自らが経験することでしか得られない学びや創造力を育む機会が減少しているように感じます。

これからの未来を担う子どもたちには、住み暮らすまちや自然との関りをもち、様々な人たちと出会いやふれあいの中で得られる新たな経験をする事で、豊かな人間性を育ててまいります。

「まちづくり委員会」

少子化、超高齢化、若者の県外流出による人口減少や労働力確保の困難が続く我々の故郷において、求められることは何でしょうか。私は、課題に対し、世代を問わず自立的に向き合い、地域の価値を高めるために行動する人財を見出し、積極的な議論ができる環境を創ることが必要と考えます。そのために、幅広い世代に対して交流を促し、地域の10年、20年先の未来を共に考えるような事業を展開し、地域住民の自立と当事者意識を高め、住民一体となって持続可能な明るい未来を描いていけるよう行動してまいります。

「共通職務」

昨年度、会員拡大の勉強会を開催し鹿角青年会議所メンバーの意識が高まった最中、コロナ禍により思っていた勧誘活動ができない状況でした。

今年度はこの情勢の中でも会員候補者に対して、鹿角青年会議所の存在や魅力を発信できるように、会員一同が熱誠をもって会員拡大をしてまいります。

「結びに」

J Cは地域の人にわくわくする様な夢と感動を与える組織でなければならないと考えます。その為に我々は、地域に暮らす若い世代の代表として、一人ひとりが自信と誇りをもって愛する郷土「鹿角地域」の魅力を語り大いにこの町の夢を語れる存在になる事が必要です。

新型コロナウイルスの情勢の中での活動になりますが、こういう時こそ、鹿角青年会議所のメンバー全員が集結し我々にしかできない事業を展開してまいります。

一般社団法人鹿角青年会議所
2021年度理事長 柳沢 誠